

人 輝く・安芸高田



議会だより

今回の題字は、ひらのななこ平野菜好さん（向原小学校6年生）です。



表紙の絵は「平成24年度文化財を描こう」歴史民俗博物館長賞

堀越ほりこし 玲音れおくん（当時小田小学校4年生）「木おしこ」です。

9月定例会2~3
24年度決算審査4~6

常任委員会報告8~13
議会報告会22~24

一問一答
14人が**市政を問う**.....14~20

あんな こんな
地域のかがやき.....26

第39号

2013(平成25)年11月1日発行

可
決

デジタル化整備工事 平成27年4月稼働をめざす!

万円追加 平成26年3月末完成!

9月定例会

9月定例会を、9月10日～10月1日までの会期で開催しました。

一般会計を含む13会計の24年度決算は、予算決算常任委員会へ付託し、本会議最終日に、全ての会計決算を全員賛成で認定しました。(決算審査は4～6ページに掲載)

一般会計補正予算ほか21議案(うち議員発議2件)を、いずれも原案のとおり可決しました。(予算審査は7ページに掲載)

一般質問では、14人が市政を問いました。(14～20ページに掲載)

議案第63号

診療所条例の一部を改正する条例

■質疑

水戸 今回の条例により除かれる横田診療所の施設の有効利用は。

■武岡福祉保健部長

診療所は老朽化のため解体し、駐車場として利用する。住居部分は売却を検討している。

■全員賛成

議案第66号

市立図書館条例の一部を改正する条例

■質疑

熊高 各図書館にて集客を上げるイベント等の検討は。

沖野教育次長 費用対効果を考え努力している。

■全員賛成

議案第78号

工事請負契約の締結について「消防本部消防救急無線デジタル化整備工事」

■質疑

水戸 従来に比べてメリットは。

■久保消防長

最大のメリットは、消防以外に傍受出来ないため、個人情報保護されること。

■熊高

119番通報などにおける、機械依存による人為的なミス防止対策も含むのか。

■久保消防長

対策は取られている。

■前重

消防団との関係は。

■久保消防長

今までどおり。

■全員賛成

■(議員提出議案)

●議案第6号

地方税財源の充実確保を求める意見書

●議案第7号

森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

■全員賛成



大型事業

☆消防本部消防救急無線 4億8722万円

☆光ネットワーク整備工事 1億9764
(光ファイバー線路、告知端末機の増・機能強化)



(付議された案件)

決算認定関係

- 認定第1号 平成24年度一般会計決算の認定について
- 認定第2号 認定第12号 特別会計決算の認定について(11特別会計)
- 認定第13号 平成24年度水道事業決算の認定について(公営企業会計)

条例関係

(新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正など)

- 議案第60号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第62号 子ども・子育て会議条例【新規条例】
- 議案第63号 診療所条例の一部を改正する条例
- 議案第64号 歯科診療所条例を廃止する条例
- 議案第65号 文化センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 議案第66号 市立図書館条例の一部を改正する条例

事業・予算関係

(計画の変更・補正予算など)

- 議案第61号 工事請負契約の変更について【光ネットワーク整備工事】
- 議案第78号 工事請負契約の締結について【消防本部消防救急無線デジタル化整備工事】
- 議案第67号 平成25年度一般会計補正予算
- 議案第68号 平成25年度特別会計補正予算(9特別会計)
- 議案第77号 平成25年度水道事業会計補正予算

認定

歳出総額 361億4387万円

予算決算常任委員会

9月10日の本会議で審査を付託された24年度一般会計・特別会計決算は、9月24日から26日までの3日間、委員会を開き慎重に審査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 先川和幸
委員 議長を除く全議員

委員長報告（抜粋）

24年度決算の特徴として、普通会計の歳入においては、地方債の額が、前年度より36億630万円増加しています。これは、光ネットワーク整備事業と葬斎場施設整備事業等の実施により、合併特例債が30億9240万円増加したことによるものでした。また、歳出では、

普通建設事業費の総額が、前年度より40億6653万円増加しており、これについても、光ネットワーク整備事業と葬斎場施設整備事業等の実施によるものでした。いずれも、新市建設計画による大型建設事業の実施がピークを迎えたことなどが要因となっております。



完成した葬斎場

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

Q 財産台帳管理システムを全庁使用開始するところだが、これによりどのような効果があるか。

A 各部署で管理している財産を全体的に明らかにすることで、総括的に利用できるもの、不要とい

■ 企画振興部

Q 無線アクセスが25年度で全て終了するが、既存の無線機器や無線アクセスの基金はどのようにするの。

A 無線アクセスについては、25年10月以降、光ネットワークに移行する。基金は今年度末で廃止し、残余金については、光ネットワーク設備管理運営基金へ移行し、有効活用したい。



電柱に設置の無線機器（吉田町小山）

24
年度決算

一般会計・特別会計

歳入総額 377億9239万円



老朽化状況調査対象の八千代保健センター

■市民部

Q 法人税が23年度と比べて約7000万円増えているが、この原因は。

A 一番大きなものは法人税の修正申告で、過去3年にさかのぼって約3000万円の納付があったことである。

■福祉保健部

Q 私立保育園は、定員24名に対して272名となっているが、公立保育所の定員割れの問題についての説明を。

A 人口が多い所にある地理的な理由と、公立保育所の11時間保育に対して、

私立保育園が取り組んでいる延長保育により、保護者の勤務状態等の関係から私立の入所が増えていると考えられる。

Q 保健センター運営事業について、施設が老朽化している課題に関して今後の方向性は。

A 保健センターの老朽化状況調査を25年度当初予算に計上しており、2箇所程度調査をしたいと考えている。

■産業振興部

Q 神楽門前湯治村へ、未来創造事業など6000万円以上を投入している。当期利益が500万円程度しか上がっていない中で、役員報酬や賞与が上がっている状況は、株主としてどう評価しているのか。当期の決算書を

チェックして抜本的な見直しが必要ではないか。

A 市にとって地域振興を図る上で重要な施設であると捉えている。役員報酬等の関連の費用については、今後、神楽門



未来創造事業による神楽甲子園

前湯治村と十分協議をし、必要な指導等を行っていきたいと考えている。

借入金残額 472億7748万円
市民1人あたり借入金残額 154万円
市民1人あたり支出額 117万円



耕作放棄地の現状

■産業振興部(つづき)

Q 耕作放棄地対策事業の仕事目標で、耕作放棄地8ヘクタールの減少を目指す、と掲げているが、実際どれだけ減少しているか。

A 昨年度は合計で8・18ヘクタールの遊休農地が解消できた。

■建設部

Q 市営住宅の使用料の滞納について、徴収はどういった体制が取られているか。

A 本人に対しては、電話催告、訪問等の納付指導を行い、あわせて連帯保証人への通知、催告の取り組みを進めている。

■教育委員会

Q 学力向上推進事業で、小学校の学習補助員が減員となっているが、現場の教員に負担が増えるなどの影響はないのか。

A 24年度から、学級の人数等による配置基準を定めて配置を行っている。補助員の人数は減っているが、成果は出ており、影響ないものと考えている。



学習補助員とともに

■特別会計

■介護保険特別会計

Q 報告書の課題にある「高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように」とは、イメージとしてどういう形を捉えたものか。

A 高齢者や障がい者が、病気や一人暮らしになっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるようなシステム、

■水道事業会計

Q 赤水(にがり水)対策として、坂巻浄水場のろ過機を更新しているが、この施設の耐用年数は何年の見通しであるか。

A 施設は、減価償却の考え方で60年である。

「地域包括ケアシステム」を構築するために、介護と医療の連携した取り組みを行うよう、準備を進めている。



坂巻浄水場 (吉田町)

25年度補正予算

市道改良・学校耐震化など 2億2353万円追加 一般会計総予算額 214億5216万円

可決



地域農道リフレッシュ事業で
舗装された道

予算決算常任委員会

9月10日の本会議
で審査を付託された
25年度一般会計・特
別会計補正予算を、
9月11日に委員会を
開き、慎重に審査し
ました。

委員長 青原敏治
副委員長 先川和幸
委員 議長を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計

■ 総務部

Q 職員給与の特例減額は国の要請による減額であるが、地方交付税や一般財源など、市の財政にどのように影響を及ぼすか。
A 職員給与費は、普通交付税の基準財政需要額（※1）の中で、ほとんどの項

目に影響があり、金額の把握は困難であるが、減額相当額については、財政調整基金（※2）で対応したことになる。

■ 福祉保健部

Q 乳がん検診業務委託料を国の方針変更に伴い減額しているが、市として一定の方針のもとに実施すべきではないか。
A 今後、市の方針をしっかりと検討し、国の指針、国の流れの状況も確認したうえで予算計上を行いたい。

■ 産業振興部

Q 地域農道リフレッシュ事業は、要望があれば今後も予算措置されるのか。また、これにかわる事業を考えているか。
A 今年度最終年ということで、6月末締切で市民に周知を

ひらけちメモ

（※1）基準財政需要額
普通交付税の算定の基礎となる金額のこと
（※2）財政調整基金
市の貯金にあたるもの

■ 特別会計

■ 国民健康保険特別会計

Q 医療費の増加や、国保税額の上昇、消費税増税の問題を含め、今後の国保財政をどのように予測しているか。
A 当市においては、1人当たりの医療費が大体2・2%から4%の間で伸びている。

来年度は、2年に一度の診療報酬の改定があり、影響があるのではないかと予想する。消費税の増税問題も含め、予算編成の中で十分考えていきたい。

Q ジョ大ホールの収容定員や市民ニーズを含め検討を行った結果、中学生全体を招くのは量的に困難と考えた。お太助フォンを通じて1年生の教室に映像を流せるよう調整を行っている。

総務企画常任委員会

9月定例会で付託された議案1件、要望・陳情2件を、9月19日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

(審査した要望書)

○地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

他1件

委員長 山本 優
副委員長 石飛慶久
委員 玉重輝吉
委員 水戸眞悟
委員 熊高昌三
委員 塚本 近

非常勤特別職に追加

☆社会福祉法人指導監査専門員
☆子ども・子育て会議委員

■概要

次の非常勤特別職の報酬等を定める。

○社会福祉法人

指導監査専門員

社会福祉法人の監督指導のため、外部から専門家（公認会計士・社会保険労務士）を任用する。

○子ども・子育て会議委員

子ども・子育て会議条例の制定により置かれる委員。

■質疑

熊高 社会福祉法人指導監査専門員の報酬額は「予算の範囲内で市長が別に定める」とあるが、

武岡福祉保健部長

予算では、日額1万9600円の4日間としているが、県の金額に準じており、毎年見直しが行われるため。

市が監査を行う社会福祉法人
(7法人)

- 安芸高田市社会福祉協議会
- 愛心会
- ちとせ会
- 高宮美土里福祉会
- ひとは福祉会
- 報正会
- たんぽぽ

※法改正により、監督権限が県から市へ移譲されたことによる。
(25年4月1日から)

陳情・要望

◎地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

要望者：全国市議会議長会

要旨：平成26年度の地方財政対策は、政府が財政健全化を進める中、厳しい展開が予想される。また、平成26年度税制改正では、市町村の基幹税目の固定資産税の現行堅持、自動車取得税・重量税の取扱等、様々な課題が山積している。よって地方税財源の充実確保を求める意見書を国へ提出することを求めるもの。

【審査の経過】上記要望は、委員会で採択し、諸手続を経て関係機関に意見書を提出しました。

◎国に対し「消費税増税の当面中止を求める意見書」の提出を求める陳情書

陳情者：三次民主商工会

趣旨：中山間地域では景気回復はいまだ実感できない状況である。消費税は低所得者ほど負担が重い税金であるため、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税の当面中止を求める意見書を、政府に送付することを求めるもの。

【審査の経過】現在、政府の結論待ちの状態であり、委員会としては、意見書の提出はしないこととする。但し、趣旨は十分に理解できるため、陳情は趣旨採択としました。

先進地視察

しろいし 白石町 (佐賀県)、 おぢか 小値賀町 (長崎県)

8月21日～23日

視察地	視察テーマ	特徴
<p>しろいし 佐賀県白石町</p> <p>人口：25,258人 世帯数：7,713世帯 高齢化率：27% 面積：99.46km²</p>	<p>白石町の「まちづくり」について</p> <p>◇総合計画に位置付けた取組み ◇「都市再生整備事業」を活用した取組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年1月1日に、白石町、有明町、福富町が合併した南北10kmの平坦な地形である。 ・中央を「白石セントラル」と名付け、生活と交流の場が存在するスマートシティ構想を基本に、都市再生整備事業を実施している。
<p>おぢか 長崎県小値賀町</p> <p>人口：2,759人 世帯数：1,328世帯 高齢化率：45% 面積：25.46km²</p>	<p>小値賀町の「まちづくり」について</p> <p>◇体験を通じた「観光まちづくり」の取組み ◇アイランドツーリズムによる「まちづくり」の取組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併を行わず、約2,700人の町民で、古民家をリフォームした民泊事業を主幹としたまちづくりを実施中。 ・離島であり、本土から観光客を呼び込み外貨を稼ぐという意識が非常に高い。 ・Iターンした若者を政策実施中心者にするなど、行政、議会が積極的に支援することで、Uターン、Iターンされる人が増加傾向。

安芸高田市	まとめ
<p>人口：30,515人 世帯数：13,167世帯 高齢化率：35.57% (25年8月末現在) 面積：537.79km²</p>	<p>◇合併10周年となる当市において、少子高齢化が進むなか、地域性を活かした「まちづくり」を実施する必要があると思われる。</p> <p>◇当市でも、「まちづくり」にUターン・Iターン者の意見を聞くシステムの確立が必要であると思われる。</p>

文教厚生常任委員会

9月定例会で付託された議案1件、所管事務調査2件を、9月18日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市子ども・子育て会議条例

(所管事務調査)

○国民健康保険の財政健全化について
○向原こぼと園民営化の効果額について

委員長 児玉史則
副委員長 前重昌敬
委員 玉井直子
委員 下岡多美枝
委員 青原敏治
委員 金行哲昭

安芸高田市子ども・子育て会議条例

■概要■

平成24年8月22日に公布された「子ども・子育て支援法」第77条において、子ども・子育てに関する審議会その他の合議制の機関を設置することが努力義務として課されていることから、条例を制定し「安芸高田市子ども・子育て会議」を設置する。

所管事務調査

国民健康保険財政健全化の進捗について

《レセプト（診療報酬明細）点検の充実強化》

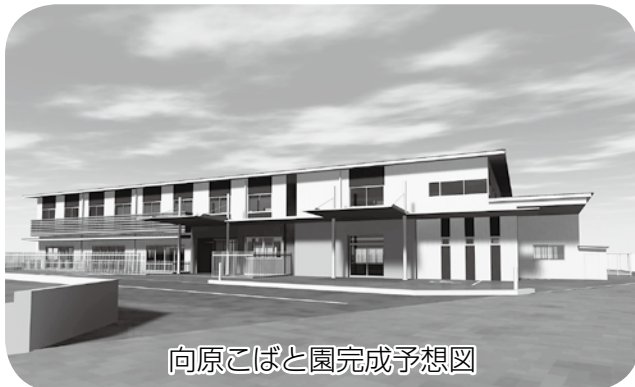
		1人当たり財政効果額(円)	
		過誤調整等	内容再掲
21年度	安芸高田市	1,965	954
	県平均	2,210	629
22年度	安芸高田市	4,132	979
	県平均	2,000	558
23年度	安芸高田市	2,236	972
	県平均	1,876	465

着実に効果が出てるんだね！



《ジェネリック（後発）医薬品の使用促進》

	23年度	24年度
延べ人数	8,865人	12,409人
削減額	17,396千円	24,879千円
1人当たり削減額	1,962円	2,005円
シェア率（数量）	21.89%	23.10%



向原こぼと園完成予想図

向原こぼと園民営化の効果

民設民営による市の支出額の軽減

- 建設費……………約2億1000万円
- 運営費……………約6900万円(年間)

サービス面

- 園バスの運行
- 延長保育の充実

先進地視察

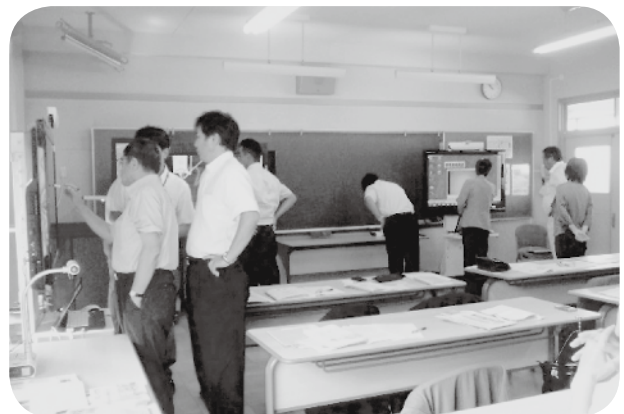
あまがさきし 尼崎市 (兵庫県)、 よっかいちし 四日市市 (三重県)、 ぎふし 岐阜市 (岐阜県)

8月19日～21日

	視察地	視察テーマ	特徴
兵庫県	尼崎市 人口：453,748人 世帯数：209,343世帯 面積：49.97km ² 高齢化率：23.3%	市民の健康保持・増進と医療費の適正化の取り組み	・ 基本的な考え方「誰のために、何のために」。 ・ 早い段階からの取り組みがある背景には、「税込の減」「生活保護費等の扶助費増加」「国保等医療費の増加」この脱却に向け、市民の健康増進に向けた対策「ヘルスアップ尼崎戦略事業」展開。 ・ できることからやってみる「早期撤退取捨選択」。
三重県	四日市市 人口：307,766人 世帯数：120,020世帯 面積：205.58 km ² 高齢化率：21.3%	教育現場でのICT（情報通信技術）の利活用の取り組み	・ ICT（情報通信技術）で授業を変える。 ・ 子どもの学びを変える。 ・ 校内研修で意識を変える。
岐阜県	岐阜市 人口：413,136人 世帯数：161,718世帯 面積：202.89km ² 高齢化率：23.7%	教育現場でのICT（情報通信技術）の利活用の取り組み	・ 国（総務省・文部科学省）の事業をうまく活用され今日に至っている。 ・ 市長自ら教育面を重視され、市独自の予算で電子黒板、パソコン、実物投影機等将来の世代を担う若者に投資。



〔尼崎市視察研修状況〕



〔岐阜市視察研修状況〕

《まとめ》

◇「教育現場でのICT（情報通信技術）利活用」の取り組み

市内にモデル校（小学校・中学校）を指定し、国（総務省・文部科学省）の事業活用、市独自の予算を増額併用し、電子黒板・パソコン・実物投影機等整備を、早期に検討を要する。

産業建設常任委員会

9月定例会で付託された議案はなく、陳情1件を9月20日に委員会を開き慎重に審査しました。また、2件の所管事務調査を行いました。

(審査した陳情書)

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について

(所管事務調査)

○空き家対策の進捗状況について
○有害鳥獣対策について

委員長 大下正幸
副委員長 穴戸邦夫
委員 久保慶子
先川和幸

秋田雅朝
藤井昌之

陳情

◎「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について

陳情者：全国森林環境税創設促進議員連盟

要旨：自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための、森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みを構築することを求める意見書を、政府関係機関に対し提出いただきたい。

【審査の経過】

上記要望は、委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関(国)に要望書を送付することとしました。



未来へつなぐ森林環境

先進地視察

道の駅 ^{うちこ}内子町 (愛媛県)、^{しまんと}四万十町 (高知県) 8月28日～30日



からの産直市外観

安芸高田市でも「道の駅」構想がある中、これからの取組みの参考として、道の駅の視察研修を行いました。

視察テーマ

- ①道の駅の運営
- ②直販所の運営
- ③地産地消と農産加工

愛媛県内子町の道の駅

「内子フレッシュパークからり」

まず社長から説明を受け、施設の視察を行

いました。「職員の雇

用の確保、生活の保障

はもちろん、生産者の

所得向上や地域の活性化を図るには、道の駅

として必要な3つの機能(休憩・情報発信・

地域連携)の前提はあるものの、施設を維持

するとともに黒字を出していくことを最優先

として「いる」とのことでした。

そのためには、いかに県外の観光客はもと

より近隣の市町からの集客を増やしていく

か、そして商品開発を行い加工品の販売促進を行うっていくかが重要な取組みとなるようです。これからは、加工品の販売促進と共に、農家との契約栽培を進めて農家の所得の安定を図りたいとの方向性を示されました。

高知県四万十町の道の駅

「四万十とおわ」

この施設は、自然素材を活かした地産地消、交流、地域振興の

拠点として平成19年に開設。地元企業「株

四万十ドラマ」がプランの段階から企画提案

に関わり、従来のどこにもあるおみやげと

トイレ休憩の道の駅ではなく、「ここにしかないもの」を提供でき

る滞在型の道の駅を目指して整備されているのは注目すべきところ

です。

また、地域住民や農



四万十とおわ研修風景

協などが積極的に関わり、商品のコンセプトや販売、仕組み、運営の検討を重ねて完成したのだからこそ、地域が一つになり愛着のある道の駅になっているものと思います。

さらに特徴的なのは、産直市を運営している地元女性グループ「おかみさん市」が、

伴設されている食堂の定休日の厨房を利用した「おもてなしバイキング」を行い、大変好

評を得ていることです。

つまり「食」は大きな魅力であり、人を呼ぶ有効な手段であると

考えます。

この度の視察研修を通して、安芸高田市では、今ある現状の中で、

「安芸高田らしく、安芸高田だからこそ、安芸高田にふさわしい」魅力を発信する「道の駅」とすることの必要性を強く感じました。

まとめ

この度の視察研修を通して、安芸高田市では、今ある現状の中で、「安芸高田らしく、安芸高田だからこそ、安芸高田にふさわしい」魅力を発信する「道の駅」とすることの必要性を強く感じました。

市政を問う

就農者支援 農業者年金保険料への行政支援は

市長／課題があるので十分検討したい



宍戸 邦夫 (無所属)

宍戸 就農者が激減する中で、将来の農業を支える担い手を育成・確保するために、農業者年金の保険料への行政支援が考えられないか。
市長 既に国の政策支援で保険料補助が



あり、農業者以外の被保険者との公平の観点から慎重に判断したい。

宍戸 農村民泊制度の確立に向けた今後の取り組みは。

市長 農村民泊は、地域の活性化を図っていくうえで有意義であると考えている。農村民泊とはいえ、農家に限らず、市民の方々に協力して頂きながら、どなたでも受け入れられるような仕組みづくりをしていきたい。

安全・安心

通学路は安全か

市長・教育長／早期に対策要望し、危険から守る対応を取る



大下 正幸 (あきの会)

大下 クラブ活動における外部指導者の対応が必要では。
教育長 クラブ活動を通して成功失敗経験を踏まえ、学習意欲、生活意欲、また

子どもの持っている可能性、夢を伸ばすよう、指導者の有効活用を図る。

大下 いじめ、不登校の対応は。

教育長 個別の面談を行い実態把握と指導の徹底を図り、家庭教育支援員と連携し、早期に学校復帰できるように対策を講じている。

大下 通学路の危険箇所の改善と対策は。
市長 国・県に対し早期対策要望して危険箇所から対応していく。
教育長 今ある通学環境の中で、自分の命、また安全を守るためにどう行動すべきか、保護者の協力を得ながら教育指導している。また、事故にあわないよう万全な対応を取る。



横断歩道がない道路をわたってのバス通学

一問一答

14人が

水戸 昨年の法改正により、報酬等一定の身分を保障し民間ハンターの隊員も含めた「鳥獣被害対策実施隊」の設置が可能となった。本市でも編成は喫緊の課題であると考えているが、



水戸 眞悟
(絆)

鳥獣被害対策

実施隊の編成は

市長／実施の検討を進める

市長 農作物の鳥獣被害については、主に有害鳥獣捕獲班に対策を委ねているが、班員の高齢化等により捕獲体制の継続が危惧されている。しかし、被害農家からの捕獲依頼には機動的に対応する仕組みづくりが必要である。民間を含む「鳥獣被害対策実施隊」の編成には、



猟友会の安全射撃訓練

報酬の額や活動範囲等の調整を要するため、市の有害鳥獣捕獲対策協議会での議論を通して実施に向けた検討を進めたい。

その他の質問

○県ドクターヘリの運用について
○全国学力テストにおける本市の課題について

市長 啓発も含めて
下岡 参加したくてもできない対象者へのサポートも必要では。

下岡 生活習慣病重症化予防事業に1500万円予算化されているが、進捗状況は。
市長 150名を目標に4月から2期に分け各自に合った個別支援プログラムを作成して生活習慣の改善指導を行い、自己管理能力向上に一定の成果が現れている。



下岡多美枝
(無所属)

健康倍増

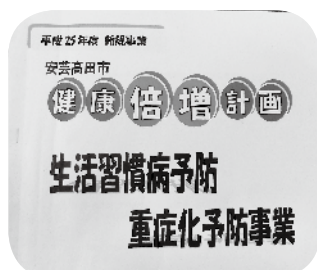
生活習慣病重症化 予防事業について

市長／プロジェクト事業として位置付け
万全の支援体制で取り組む

検討し、今後一歩進んだ取り組みをする。

下岡 お太助フォンから対象者に状況の説明をしたり、禁煙の呼びかけや体操など、市民が自分のペースで健康維持できる取り組みをされてはどうか。

市長 お太助フォンのテレビ電話機能を有効活用し、保健指導など効果的に図れるか検討を進めている。



健康倍増計画

特別警報

発令時の対応は

市長／迅速な情報伝達と的確な指示



先川 和幸 (無所属)

先川 避難場所の容量と食料備蓄は。市長 避難場所としては56ヶ所、2万6432人収容可能で、食料等の備蓄は3日間程度用意している。

先川 特別警報発令時の避難行動計画は。市長 本市の地形等を考慮すると、平素より住民自らが一時避難場所を想定する必要がある。また市は早期避難の必要性や、自助・共助の重要性の啓発に努める。

命を守るために知ってほしい
特別警報

東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒を呼びかけたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結びつかない例がありました。気象庁ではこの事実を重く受け止め、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、新たに平成25年8月から「特別警報」を創設することになりました。

気象庁
Japan Meteorological Agency

先川 自主防災組織との連携は。

市長 災害対応に想定外ということはなく、最悪の事態を想定し、自助・共助・公助の役割分担を明確にし、自らの命は自ら守り、平素の訓練を通じ、被害状況、安否確認、要援護者等の情報提供を期待する。

未改良道路は

市長／地域の協力があれば、優先的に制度を検討

市道整備



前重 昌敬 (絆)

前重 地域の振興、日常生活の安全安心の確保等における、今後の未改良の市道整備は。市長 費用対効果、緊急性の度合い等により、厳しい選択と集中の考え方で進め



今後の課題となる市道整備

ていく。

前重 市道認定の路線数、延長は。建設部長 1170数路線、約805km。

前重 整備計画以外の路線で、地域の協力をいただける整備については、市独自の助成事業も必要ではないか。市長 市民の協力が

得られるものであれば、優先的に制度づくりを検討していく。大事な検討課題にする。

その他の質問

○社会基盤整備による、公共事業の老朽化対策について
○外部人材活用による人口増加対策について

市長 「費用対効果を考慮し、新たな施設整備は慎重にならざるを得ない。効果がでるのなら民間活

久保 サンフレッチエサポーターから、「身近にプロ選手が見られていいが、弁当の一つも買えない。飲み物の自動販売機も売り切れが多かった。」という声を聞く。売店の設置について、公募をすれば協力が得られるのでは。



久保 慶子
(無所属)

サッカー公園に売店を

協力していただける方の公募は
市長／課題として検討したい

力も検討したい」と昨年12月議会でも答弁している。新たな



かつてはサポーターも食事できていた茶屋

提案であり、指定管理者や保健所との協議が必要だが、課題として検討したい。民間でできるような仕組みがあれば、そのようにしていきたい。

秋田 竹林面積が拡大している。特に放置竹林は土砂災害等の原因となり、対策が必要ではないか。
市長 繁茂防止はひろしまの森づくり事業の里山林整備事業で対応しており、引



秋田 雅朝
(政友会)

整備のシステムづくりを

市長／他市町の事例を参考に検討

秋田 粉砕処理された竹材を、堆肥センターを活用して堆肥化し、耕作地の土壌改善に役立ててはどうか。
市長 堆肥の質の向

市長 機械支援は受け皿づくりと活用策を、仕組みづくりは他市町の事例を参考に検討していきたい。

き続き事業推進と所有者の自己管理啓発により対応したい。



堆肥センターで竹林資材の有効活用を

上になるのであれば、活用できる量やコスト面を整理し、関係者の意見も参考に事業化の検討を行いたい。

その他の質問
○農作業事故防止対策について

教育や文化活動支援は公平公正か

教育長／社会教育は自助を基本に、学校教育は機会均等

教育の機会均等



熊高 昌三 (無所属)

熊高 小学生対象の英会話教室等は公平な取り組みか。
教育次長 教室開催地は、選択と集中で1会場としたが、全市から参加できるよう努力したい。

熊高 地理的、経済的条件の厳しい市民への影響は。

教育長 社会教育は自助を基本にその上で公助を。学校教育は機会均等に努める。中心部での事業展開は再度検討をしてみたい。

熊高 地域実態把握の不十分さから、社会教育への対応が行き届いていないのでは。

教育長 そのような実態もあり今後最大限努力する。

熊高 学校規模適正化に向け、教育が地域に与える影響は大きく、きめ細かな取り組みが必要ではないか。
教育長 学校規模適正化は社会教育の充実とも大きく



十分な文化活動の支援を

関係している。合併10年を機に子どもを巻き込んだ新しい地域のあり方を、みんなで議論し、安芸高田教育をつくっていく。

その他の質問

○観光・防災拠点・再生可能エネルギーを活用し、「スマートシティ構想」として持続可能な環境配慮型まちづくりについて



青原 敏治 (あきの会)

青原 学校規模適正化推進計画のその後の進捗状況は。

教育長 今年度は計画推進期間の中間年度にあたる。小学校の統合に向けて具体的な議論を行っていただくための「統合準備委員会」の立ち上げに向け、今後は、保護者への説明と合わせて、各地域振興会をはじめ、保育所、幼稚園などに説明を行い、「統合準備委員会」の立ち上げを図っていきたい。

青原 土師ダムサイクリングターミナルの宿泊施設をどのように検討されたのか。
市長 宿泊施設は利

学校規模適正化

学校規模適正化の進捗状況は

教育長／統合準備委員会の立ち上げに向け、説明会を行っている



学校規模適正化説明会

用者の皆様の利便性を高めると思うが、逼迫する財政の中、新たに整備することは難しいと考える。

民間の方々がぜひ宿泊所を作らせて欲しいということになれば、前向きに検討していきたい。

一般質問

金行 本市にも不妊治療の方がおられ、治療も長期化し、費用もかかっている。市も不妊治療に対する助成が必要と考えるが。

市長 広島県不妊治療支援事業に上乘せ



金行 哲昭
(政友会)

子育て支援策

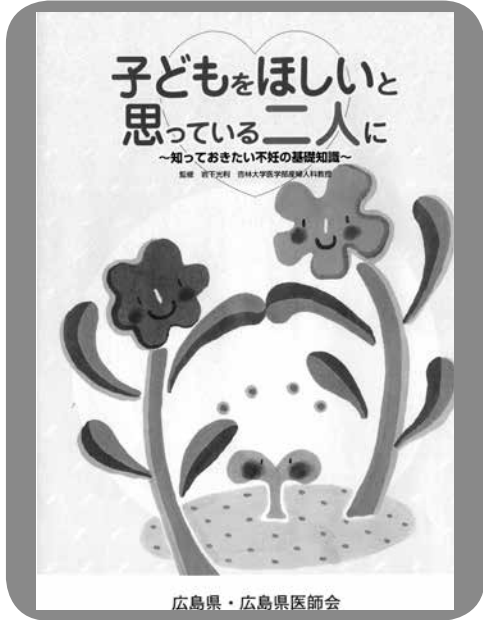
本市も不妊治療への助成を

市長／前向きに検討したい

する形で助成している市町がある。実情を把握し、前向きに検討する。

金行 本市では平成20年度決算から「新地方公会計制度」を取り入れているが、その成果は。また、その成果を市の長期総合計画の見直しにどのように反映させるのか。

市長 市民1人当たりの資産額や負債額、また行政コスト等が算出できる。当初つくられた総合計画も見直しをしているが、減価償却を見ている。複式簿記の成果を踏まえたデータの中で計画を検討していく。



玉井 ひとり暮らしの高齢者の方が安心して生活できるための施策と課題は。

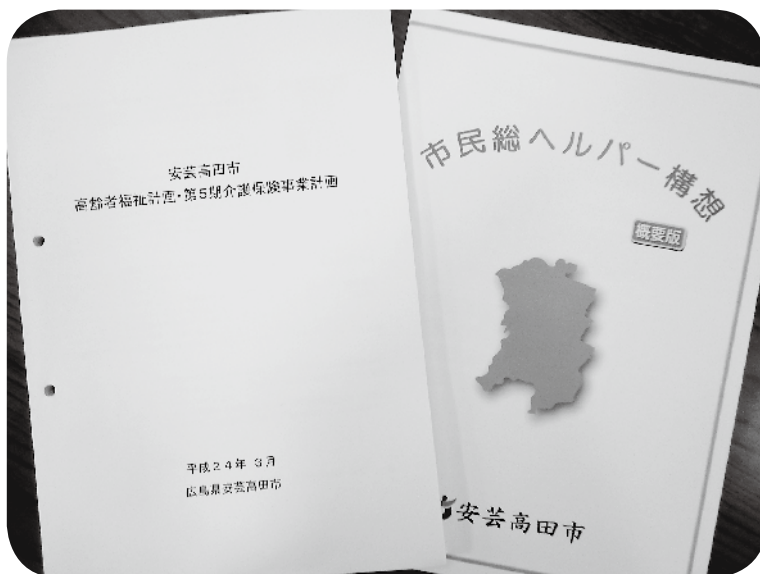
市長 平成24年3月に策定した「高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」にのっとり、高齢者施策を展開している。市民がお互いに助け合う「市民総ヘルパー構想」を提唱し、市社協と連携して「安心生活創造事業」を立ち上げ、ひとり暮らしの高齢者等の生活支援や見守り活動に取り組んでいる。課題は「地域包括ケアシステム」の構築が求められているところ。人材の確保も検討している。



玉井 直子
(無所属)

玉井 横の連携と安否確認については。

市長 関係部局団体等と情報の共有を図り、積極的な見守り



さまざまな事業に取り組む

や相談・支援体制を整え、定期的な訪問で安否確認も行っている。

安心安全

高齢者の安心安全は

市長／様々な事業を実施しながら生活支援や見守り活動に取り組む

吉田・向原以降の 実現性は

東広島高田道路

市長／資金的にも
ハードルが高い



児玉 史則
(絆)

児玉 重複路線である、現存の県道37号線の歩道の改修や直線化、豊栄までの道路改修の方が喫緊の課題と考えるが。

市長 本事業とあわせて当面の課題としての現存の道路改修



東広島高田道路 (イメージ)

も要望していく。いずれにしろ方向性を定めていく。

児玉 中学校の再編は、若者定住の観点から、市内県立2高校との連携が必要では。

市長 中高一貫も含め、まちづくりの一环として考えていく。

教育長 主旨は十分理解できる。県教委、担当課とは連携をとっていきたい。

児玉 魅力ある学校づくりのためには、エアコンの設置等、

環境整備も含め、あらゆる視点から議論が必要では。

市長 まちづくりの視点で、その方向性を大きな課題として捉え議論していく。

児玉 平成26年度一般会計予算の推計は185億5000万円と厳しい状況が示されている。予算編成に対する考えは。

市長 推計額より増額となるが交付税や人口が減る中で、思い切った行革が必要と認識している。



山本 優
(絆)

山本 障がい者の水泳世界選手権がカナダのモントリオールで開催され、選手の手をサポート役として勤め先を退職し参加された方については。

市長 素晴らしい指導者がおられることは市としても誇りであり、スポーツ活動に大いに貢献していただきたい。しかし、退職しての参加については労使の問題であると考える。

山本 能力のある人材の活用について、行政のサポート体制は。

市長 情報の提供面での協力、また各関係部署を相談の窓口

指導者の活用

人材育成と 活用については

市長／行政的支援は困難

とし、連携を取りながら行っていくたい。指導者に対しての行政的支援は行っていない。非常に厳しい状況である。



健康教室における指導風景 (吉田温水プール)

可決

工事請負契約の変更(向原生涯学習センター)

4452万円追加

総工事費 9億8217万円

第1回臨時会

8月5日、25年第1回臨時会を開催し、議案「工事請負契約の変更について」向原町生涯学習センター建築工事の審議をし、賛成多数で可決しました。

質疑

青原・玉重 追加工事は市内業者に行っていたら、それが筋だと思いが。

竹本企画振興部長

市内業者の活用という思いはあったが、安全性・施工性を考えた場合、一体的に工事をした方がよいと判断した。

金行 工事は順調に進んでいるか。

竹本企画振興部長

9月末の完成を目指して対応していきます。

第2回臨時会

8月26日、25年第2回臨時会を開催しました。

○農業委員会委員の推薦について

推薦決定



工事中の向原生涯学習センター視察

芸北広域環境施設組合 (きれいセンター)

ごみの出し方 ワンポイントレッスン

～プラスチック製容器包装の出し方について～ 対象は、プラマークのあるものです

お菓子の袋は

逆さにしてふるって、中身をきれいにし出す



カップ麺や弁当パック・トレイは

不用な布や紙でふき取るか、水ですすいで乾かす。



チューブやボトルは

2～3回くらい、水ですすいで、水気を切る。



ピンク色のごみ袋に入れます。(1袋30円)



お願い!



袋の口をガムテープ等で止めないで。

テープに容器などがくっついて困ります。袋が破れたところをテープで貼るのは、かまいません。(缶、びんも同様)



汚れたものは、リサイクルできないので、出さないでください。処理するとき他のきれいなプラ容器も汚れてしまいます。

汚れがとれないもの、ハガキより小さいものは、「燃えるごみ」で出してください。

『意見交換会』での主な意見や質問

吉田地区

- ・とき 8月1日(木)
午後7時～
- ・会場 クリスタルアージョ
- ・参加者 31人



Q1

職員と特別職は給与削減を行ったのに、なぜ、議員報酬の削減をしなかったのか。

A1

これまで議員定数の削減、委員会日当の廃止など議会改革に努めています。2日間にわたる協議を行った後、多数決（賛成8反対9）の結果、議員報酬の削減は行わないこととなりました。

Q2

これから莫大な借金をどうやって補っていくのか。執行部・議会・市民と共に議論する場が必要と考えるが。

A2

執行部・議会・市民が、お互いに今の現実を理解し、ソフト面・ハード面を含めて、本当に必要なものを協議しながら決定していく必要があると考えます。

Q3

人口は減っているが、議員定数は削減しないのか。

A3

合併以来、改選ごとに議員定数の削減をしてきました。議会改革の中で、議員定数はどうあるべきか考える必要があると思います。



- ・とき 8月2日(金)
午後7時～
- ・会場 八千代文化施設フォルテ
- ・参加者 39人

八千代地区

Q1

八千代支所整備計画が凍結しているが、早急になんとかして欲しい。

A1

公共施設現状分析調査を踏まえ早急に取り組む予定となっています。支所機能の充実のため、施設は必要と考えますので、引き続き調査研究していきます。

Q2

道の駅の場所は決まっているのか。議会として十分に調査した上で了解したのか。

A2

国の事業であり、吉田町可愛地域の産直市の所に決定しています。交通事故を防ぐという国土交通省の基本的考えであり、場所の変更はないと考えます。

Q3

八千代町は広島市の玄関口である。空き家・荒廃農地・人口対策は。

A3

どの地域も同じように人口が増えるよう考えています。地元の方と協力して、もっと発展するよう頑張りたいと思います。

25年度議会報告会

市内6か所で開催

美土里
地区

- ・と き 8月7日(水)
午後7時～
- ・会 場 美土里支所
- ・参加者 25人



Q1

北の関宿周辺の空き地の
利活用が必要では。

A1

合併以前にインターチェンジ周辺整備計画等で
購入した土地であり、地域拠点整備に沿った有
効利用の模索段階です。

Q2

あじさい聖苑の利用方法、祭
壇・弁当の扱いがよくわから
ない。

A2

利用方法は広報などでお知らせしてしま
すが、手続の際におたずねください。

Q3

保育所の統廃合について、既存
の施設利用に拘らず、防災や次
世代を踏まえ新設も検討して
いただきたい。

A3

要望書を提出されておられることを聞い
ています。議会でも注視していきます。



- ・と き 7月26日(金)
午後7時30分～
- ・会 場 高宮支所
- ・参加者 39人

高宮
地区

Q1

開かれた議会報告会とあるが、回数
を増やして欲しい。平日開催・若者
の参加は。

A1

4年前から年1回行っていきます。今
後の方向性を協議したいと思います。

Q2

要介護や認知症になっても自宅で生活した
い。地域包括支援センターなどの業務相談
を支所ですて欲しい。

A2

要望も含めて高齢者支援セン
ター(地域包括支援センター)
について協議します。

Q3

支所機能の充実により農
業振興・有害鳥獣対策を
行う事が、安心した定住
に繋がるのでは。

A3

JAとも連携し、農業振興を図っています。耕
作放棄地の対応・里山整備など住みやすい環境
づくりの政策に取り組みたいと思います。

甲田地区

- ・とき 7月30日(火)
午後7時30分～
- ・会場 甲田支所
- ・参加者 48人



Q1

公民館の調理室が使えなくなった。新設の施設の考えは。

A1

公民館が廃止となったため、近隣の調理室の使用をお願いしています。市全体の施設状況の調査を踏まえて判断することになりますが、新設は現在の状況では難しいと思います。

Q2

光ネットが整備されたが、議会中継などの発信はどのように進めるのか。

A2

議会の情報発信の方法について、議会事務局とCBBS（中国ブロードバンドサービス株式会社）で検討中です。

Q3

「時代に即応した機構改革」「行政改革」など検証し推進すべき時だ。重要な案件は議会全体で方向性を示し市民に伝える事が必要だ。

A3

各委員会、活動を充実し、開かれた議会を目指します。



- ・とき 8月3日(土)
午後7時～
- ・会場 向原公民館
- ・参加者 26人

向原地区

Q1

高規格道路と繋がる県道には歩道がない。県道・市道・農道に安心安全な道路改良計画を。

A1

県の方針は一路線に2事業は行わないとのことだが、前向きに検討中と思っています。生活者重視の安心安全な道路整備を提案します。

Q2

補助金の無駄遣いが多い気がする。

A2

補助金の使用目的は、各地域により様々です。補助金は監査を受けています。色々な問題点を整理します。

Q3

これからの農業法人のあり方は。

A3

国の「人・農地プラン」の施策を展開して、地域に密着した農業法人とすべきではないかと思えます。

議会のうごき 25年7月～9月の議会の主な活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
7	5・12・18・24		議会広報特別委員会	議会だより38号の編集・校正
	17	水	全員協議会	農業委員の議会推薦、議会報告会
	31	水	全員協議会	向原町生涯学習センター（現地視察）
議会運営委員会			臨時会の開催について	
7/26～8/7			議会報告会	議員6班で市内6箇所にて開催
8	5	月	第1回臨時会	工事請負契約の変更について
			全員協議会	農業委員の議会推薦について
			議会運営委員会	第3回定例会・第2回臨時会の運営
	19～21		文教厚生常任委員会	先進地視察（尼崎市、四日市市、岐阜市）
	21～23		総務企画常任委員会	先進地視察（白石町、小値賀町）
	26	月	第2回臨時会	農業委員会委員の推薦について
全員協議会			議会報告会のまとめについて	
28～30		産業建設常任委員会	先進地視察（内子町、四万十町）	
9	3	火	議会運営委員会	第3回定例会の運営について
	10	火	第3回定例会（開会）	議案の上げ、委員会付託
	11	水	予算決算常任委員会	25年度補正予算審査
	12・13		第3回定例会（一般質問）	質問者14人
	18	水	文教厚生常任委員会	付託議案の審査、所管事務調査
	19	木	総務企画常任委員会	付託議案の審査、所管事務調査
	20	金	産業建設常任委員会	陳情の審査、所管事務調査
	24～26		予算決算常任委員会	24年度会計決算審査
26	木	全員協議会	議会報告会の意見感想等について	

■25年第4回定例会は12月初旬から下旬の期間で、開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

傍聴記

甲田町
影山誠司さん

議会報告会を開催されることはいいことだと思います。しかし、若い世代の人々の参加が少ないと思いました。それと、議員さんが何かぎくしゃくしていると感じます。仲良くしてくれとは言わないが、もう少し議員さんたちが仲良くしてもらいたいです。皆さんは市民が選んだ人たちですよ。自信を持ってくれないと、私達は本当に不安になるんですよ。まじめな議員さんとうでない人たちで、あまりにもその差があるのではないでしょうか。



甲田町
今村義照さん

9月定例議会をほぼ傍聴した。前年度の決算審査過程で、近未来の市政の方向付けを探りたかった故である。26年度から交付税減額が明確で、その対応策として、市政の政策、施策の変貌を余儀なくされ、事業・事務の取捨選択、合理性が求められる。まさに行政評価による議会側の評価で、執行部と対座し、論議することにより市民に説明責任を果たす役割があるが、個々の意見に終わり、議会全体としての論議や意見にはなっていないと感じられる。議会の役割について、あらためて考えさせられた定例会である。

地域のかがやき

吉田

地域
一体



埃ノ宮神社秋季例大祭 (10月13日)

五穀豊穣

八千代

水車米でおもてなし

ごくろうさま!



潜龍峡ふれあいの里「収穫祭」(10月6日)

美土里

広島市より21家族



重信地域での農業体験 (9月16日)

高宮

収穫に感謝!



第26回来女木宮地山神社秋祭り
神輿御旅行事 (10月6日)

甲田

全国優勝おめでとう!



深瀬ひよっとこ同好会 (10月13日)

向原

この場所で最後の運動会



向原こばと園運動会 (9月28日)

編集後記

議会だより第24号〜28号までが「文化財を描こう」1期目で、第36号からは2期目で皆様へお届けをしております。「オロチ」「木造校舎」「八幡神社」そして、今回「木おいこ」と毎号子どもたちの絵には繊細で、全体の立体感をつましく描いていることに感銘しております。私たち広報委員も子どもたちの絵に恥じないよう、一生懸命定例会閉会后に毎週1回は集まり広報内容をまとめている状況です。

常に、初心の気持ちで広報に携わってはありますが、なかなか皆様の意に叶う内容になっているか心配な面もあります。

今後も、市民の皆様のご意見も聴かせていただき、この広報が充実した内容になるよう日々研鑽し「手に取ってみられる広報」に仕上げたいくよう委員一丸となりまい進していきます。

寒暖の差が激しくなる季節、体調にはくれぐれもご自愛ください。

(前重昌敬)

〈発行責任者〉

議長 長 塚本 近

〈議会広報特別委員会〉

委員長 石飛 慶久

副委員長 穴戸 邦夫

委員 玉井 直吉

委員 久保 輝子

前重 昌敬